

設計にあたって

オイルスベアリングのベースレジンおよびベースメタルの耐食性

耐食性									
区分	樹脂系・複層系								
ベース	ポリアセタール	ポリオレフィン	ポリアミド	PTFE	PPS	フェノール樹脂	エポキシ樹脂	ポリエステル	
製品名	#80 ルーテック #480 ドライメットST*	#81	#83	グライトロンF ドライメットLF* テクメット* ハイブラスト	グライトロンS グライトロンSE グライトロンSF	#250 #425 #470 ファイバーフロンTR ファイバーフロンOH	ファイバーフロンFW	ファイバーフロンGH	
酸	10%硫酸	△	◎	△	◎	◎	◎	△	◎
	30%硫酸	△	◎	△	◎	◎	◎	×	◎
	濃硫酸	×	△	×	◎	○	△	×	×
	塩酸	×	◎	△	◎	◎	○	△	○
	10%硝酸	△	○	×	◎	○	△	△	×
	40%硝酸	×	△	×	◎	△	×	×	×
	ぎ酸	×	◎	×	◎	◎	◎	—	—
	75%磷酸	△	◎	×	◎	◎	◎	—	◎
	10%クロム酸	×	△	×	◎	◎	○	△	△
	乳酸	—	◎	○	◎	◎	◎	△	○
過酸化水素	○	○	△	◎	○	△	×	○	
液体塩素	×	◎	○	◎	◎	△	×	△	
アルカリ	アンモニア(液体)	△	◎	△	◎	○	△	×	×
	塩化鉄	◎	◎	◎	◎	◎	△	—	—
	塩化カルシウム	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎
	硫黄	◎	◎	◎	◎	◎	△	—	◎
	水酸化カルシウム	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎
溶剤	メチルアルコール	△	◎	△	◎	◎	△	△	◎
	アセトン	△	△	△	◎	◎	◎	△	△
	ベンゼン	△	△	○	◎	◎	◎	×	—
	四塩化炭素	×	×	△	◎	○	◎	—	—
	エチレングリコール	○	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎
油類・その他	石油	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	—
	ディーゼルエンジン油	○	—	◎	◎	◎	—	◎	—
	潤滑油	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	動物油	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
	植物油	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
	オレイン酸	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	—
	ガソリン	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	—
	灯油(ケロシン)	◎	×	◎	◎	◎	◎	○	—
	ナフサ	△	△	◎	◎	◎	◎	○	—
	ラッカー	△	△	◎	◎	△	◎	△	—
水	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
海水	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

◎：優 ○：良 △：可 ×：不可 —：データなし
 ※摺動面のベースレジンに対する耐食性であり、バックメタルは対象としていません。

●本表は、各ベース材料の特性であり、配合されている充填剤などにより特性が異なる場合がありますので、実際の選定にあたっては、お問い合わせください。

耐食性				
区分	金属系			
ベース	高力黄銅鑄物	青銅鑄物	アルミ青銅	鑄鉄
製品名	#500SP #500HP #500 球面軸受* #500 ガイドユニット* (BK, BT タイプ)	#500B	#500AB	#500F
酸	40%~80%硫酸	×	○	×
	80%~95%硫酸	×	△	×
	塩酸	×	△	×
	硝酸	×	×	×
	磷酸	×	○	×
	クロム酸	×	×	×
	乳酸	×	○	×
	過酸化水素	△	○	×
	塩素(湿)	×	△	—
	塩素(乾)	◎	◎	◎
アルカリ	アンモニア(湿)	×	×	○
	アンモニア(乾)	◎	◎	◎
	塩化第一鉄	×	○	×
	塩化カルシウム	×	○	△
	硫黄(湿)	×	×	△
	硫黄(乾)	◎	○	△
	水酸化カルシウム	○	◎	○
溶剤	メチルアルコール	◎	◎	◎
	アセトン	◎	◎	◎
	トルエン	◎	◎	◎
	四塩化炭素(湿)	×	○	×
	四塩化炭素(乾)	◎	◎	×
	エチレングリコール	○	◎	△
	油類・その他	原油	△	○
重油		○	◎	○
潤滑油		◎	◎	◎
動物油		◎	◎	—
植物油		◎	◎	△
ガソリン		◎	◎	○
灯油(ケロシン)		◎	◎	○
ラッカー		◎	◎	△
水		○	◎	△
海水		△	○	×

◎：優 ○：良 △：可 ×：不可 —：データなし
 ※#500 球面軸受及び#500 ガイドユニット(BK, BT タイプ)に組み込まれている#500のみ。

選定の目安
 製品紹介
 樹脂系ヘアリング
 複層系ヘアリング
 金属系ヘアリング
 ヒロプロック
 エアヘアリング
 スラットシフター
 技術資料
 会社案内